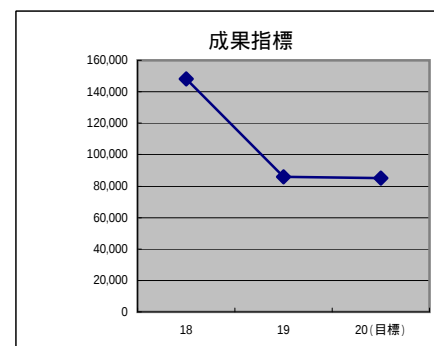
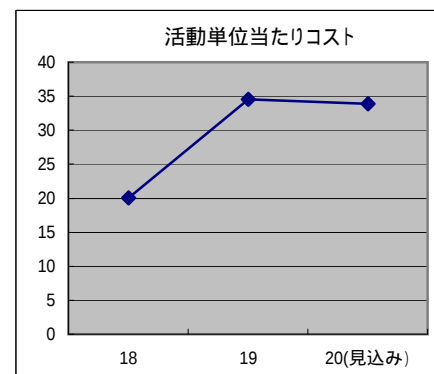


事務事業名		総合案内事務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	2	総務費	
					項	3	戸籍住民基本台帳費	
					目	1	戸籍住民基本台帳費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち	事業	11	総合案内カウンター		
	施策(節)	3	行財政運営					
	施策の方向			作成部署 市民人権部市民課				
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 5820			
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	来庁者							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
	目的をスムーズに達成するための案内をする。							
事業の内容	来庁された市民に対し、庁内の案内をする。							
	各種証明書の案内および申請書記入の説明をする。							
	庁内アナウンスをおこなう。							
	北サービスをおこなう。							
根拠法令等								
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 3 年 月開始 ☐ 明確にはわからない			終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化		市民ニーズが増えるにつれ、取扱い業務も多岐にわたる。						
市民や議会の要望								
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託 ☐ 民間委託		名称				
				委託内容				

区 分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		0	0	0
人件費【2】 (千円)		2,970	2,970	2,880
職員数	正規職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	1.65 人	1.65 人	1.60 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		2,970	2,970	2,880
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	134	116	114
	一般財源 (千円)	2,836	2,854	2,766
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
総合案内件数 件		148,215	85,988	85,000
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		20 円	35 円	34 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		25 円	25 円	24 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	式)	総合案内取扱数(件)	適正に案内している件数	目標	148,215	85,988	達成率(%)
				実績	148,215	85,988	100.0%
	式)			目標			達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	来庁者に案内をおこない、スムーズに目的をはたすことのできる市民サービスの基本業務である。
		○		○				○			

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐
	緊急性が認められる			☐	☐	☒
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☒
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☐	☒	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☐	☒	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☐	☐	☒
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☐	☐	☒
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☐	☐	☒
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☐	☐	☒
達成度	成果指標の目標値は適正である			☒	☐	☐
	成果指標の実績値は目標値以上である			☒	☐	☐
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐

担当 部局 評価	総合評価					
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了					
	評価の理由					
	来庁者が迷わずにスムーズに用件を済ませることができる。					
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)					
	市民ニーズに合わせて、今後も適切、丁寧な案内を継続する。					